



純水洗車とは？

純水洗車とは、水道水に含まれるカルシウムやマグネシウムといった不純物を除去した「純水」を使用して行う洗車方法です。

水道水の不純物は乾燥後に車体へ残り、汚れやシミの原因になりますが、純水は不純物が残らないため、洗車後の仕上がりが非常にきれいになります。

また、純水は塗装面やコーティング層に負担をかけにくく、高級車やコーティング車との相性が良い点も特徴です。

純水洗車機とは？

純水洗車機とは、水道水から不純物を取り除き、純水を自動で生成する装置です。

内部には、フィルターやイオン交換樹脂、逆浸透膜（RO）などが組み込まれており、これらの仕組みによって純水を作ることができます。

**当店古見店では、ドライブスルーに純水洗車機が地域初導入！！
この機会に是非純水仕上げをご利用ください。**



純水洗車のメリット

純水洗車には、さまざまなメリットがあります。

ウォータースポット防止効果

ウォータースポットとは、水道水に含まれるミネラルが塗装面に残って固まり、深いシミとして定着した状態のことです。

水滴が乾いた直後にできる白いシミは「イオンデポジット」と呼ばれ、これを放置すると固着が進み、より深刻なウォータースポットへと変わっていきます。

純水にはカルシウムやマグネシウムなどのミネラルが含まれないため、水滴が乾いても残留物がほとんど残りません。そのため、イオンデポジットやウォータースポットの発生を防ぎやすいのが特徴です。

定期的に純水洗車を取り入れることで、車の塗装を美しく保てるだけでなく、長期的にはリセールバリューの維持にもつながります。

仕上がりの美しさ

純水にはミネラルなどの不純物が含まれていないため、洗車後にシミが残りにくく、表面の透明感が際立ちます。
濃色ボディでもムラが出にくく、車本来のツヤをきれいに引き出せるのが特徴です。また、純水はコーティング剤やワックスの密着を妨げないため、仕上がりの均一さや光沢を長く保ちやすくなります。

拭き上げ時に傷がつきにくい

水道水に含まれるミネラル分が乾くと、表面にザラつきや白い跡が残り、その上をクロスで拭くことで微細な傷が入りやすくなります。純水であればこうした不純物が残らないため、拭き上げ時の摩擦が少なく、細かな傷がつきにくくなります。
また、純水はコーティング層に余計な成分を残さないため、ガラスコーティング車との相性も良く、仕上がりを長く保ちやすいのが特徴です。

水道水での洗車との違い



水道水での洗車との違い

水道水での洗車と純水洗車の違いは、水に含まれる成分によって仕上がりに差が出ることです。

ここでは、それぞれの特徴と違いを詳しく解説します。

水道水に含まれる成分と洗車への影響

先述のとおり、水道水にはさまざまな成分が含まれています。それぞれの成分の洗車における問題点は以下のとおりです。

- **ミネラル成分**：水道水にはカルシウムやマグネシウムなどのミネラルが含まれています。ミネラルが車体表面に残留し、乾燥後にイオンデポジットを形成する原因となります。
- **塩素**：水道水には消毒のために塩素が添加されています。塩素は車体の塗装を劣化させる可能性があります。
- **不純物**：水道管の劣化により、鉄サビなどの不純物が混入することがあります。これらは車体表面に付着し、洗車後の仕上がりに影響を与える可能性があります。

不純物を取り除いた純水であれば、こういったリスクが回避できます。

純水洗車での仕上がりの違い

純水にはミネラルや不純物が含まれていないため、乾燥後も車体に残留物がほとんど残りません。

その結果、水道水で洗車した場合に比べて、ボディやガラスを艶やかで美しい状態に保つことができます。